

友好・平和ニュースレター

編集・発行 / 厚木市友好交流委員会 (事務局 厚木市広域政策課友好親善係 046-225-2050)

網走市への小学生訪問事業

昨年に引き続き、小学生5・6年生が7月24日～27日、網走市を訪問します。今年も多数の応募があり、抽選で85人の児童が訪問することになります。網走市では、広大な畑で、ジャガイモ掘りやカレーライスづくり、地元の小学生と藻琴湖で地引網交流などを行う予定です。

訪問中の子どもたちの活動内容は、撮影し厚木市のホームページで紹介してまいります。



昨年度の活動状況

小林市長を団長として軍浦市を訪問



盧載榮(ノ・ゼヨン) 軍浦市長を表敬訪問

厚木市長を団長に訪問団7人で4月28日～30日、韓国軍浦市を訪問しました。軍浦市で開催された「軍浦市祝祭」に参加し、軍浦市長及び軍浦市議会議長への表敬訪問を始め、文化、スポーツ団体などの友好交流団体の皆さんと意見交換をしてまいりました。

中国・揚州市から2団が来厚

中国揚州市の2つの友好代表団が厚木市を訪問しました。4月16日～17日は王宗元揚州市政治協商会議副主席を団長とする議会関係者5人、また、4月24日～26日は王軍人民対外友好協会会長を団長とする文化、放送関係者6人、それぞれの代表団は、小林市長と議長を表敬訪問し、市内の公共施設など視察するなど、友好交流を深めました。

友好交流委員会では、4月24日にロワジールホテルで歓迎夕食会を開催し、委員をはじめ51名の参加をいただき、揚州市の方々との交流の一時をすごしました。

8カ国12名が委員に

厚木市外国籍市民懇話会

5月24日に厚木市外国籍市民懇話会の委員委嘱式が行われました。当日は、中国、韓国、ブラジル、バングラデシュなど、8カ国12名の外国籍市民が、小林市長から2年任期の委嘱状を受け取りました。公募による2名を含む、5名が新たに委員となり、委嘱式後の懇話会で、大工廻実(ダクザク・ミノル)さんが新座長に選出されました。

懇話会では、日常生活のことなどを話し合い、市民と外国籍市民が共生できる、地域社会づくりをめざしています。この懇話会の提案で、毎月1回、勤労福祉センターで市民と外国籍市民が交流する「インターナショナルティーサロン」が開催されています。

